

沖縄県と気象台が共同して発表する 土 砂 災 害 警 戒 情 報

沖縄県と気象台（沖縄気象台、宮古島地方気象台、石垣島地方気象台）は、土砂災害警戒情報を共同して発表しています。



土砂災害警戒情報は、大雨により土砂災害の危険度が高まった市町村を特定し、沖縄県と気象台が共同して発表する情報です。発表した土砂災害警戒情報は、沖縄県から市町村や消防本部等に通知されるとともに、各気象台から報道機関等を通じて一般住民に周知されます。

1 土砂災害警戒情報の目的

土砂災害警戒情報は、大雨警報（土砂災害）発表中に土砂災害（土石流や集中的に発生する急傾斜地の崩壊）の危険度が高まった市町村ごとに発表するもので、市町村長が防災活動や避難勧告等の災害応急対策を適時・適切に行えるよう支援することと、住民の自主避難の判断等に利用できることを目的としています。




ポイント 『大雨警報（土砂災害）発表中に、土砂災害の危険度が高まったときに発表する』土砂災害警戒情報は、大雨警報（土砂災害）発表中にさらに土砂災害の危険度が高まったことをお知らせする大変重要な情報です。

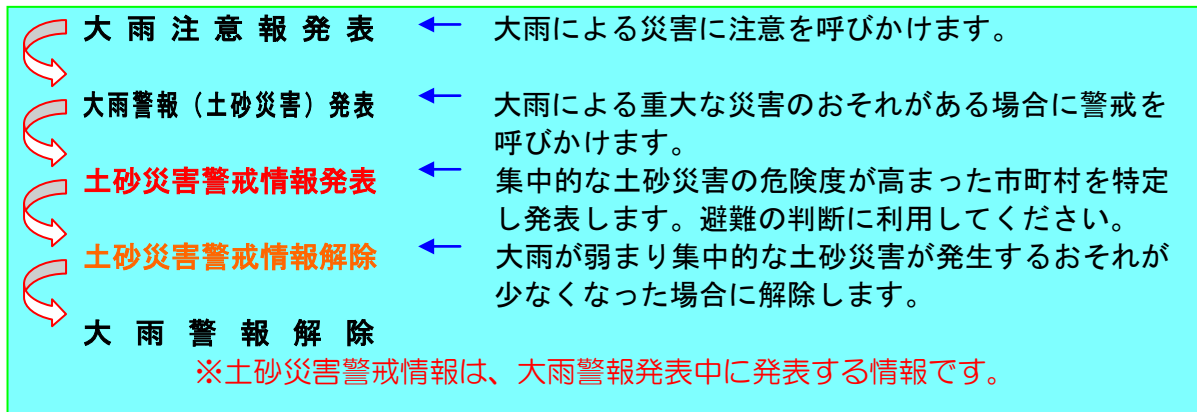
 <p>土石流</p>	<p>土石流</p> <p>渓流地帯に堆積した土砂や岩石が水とともに一気に下流方向へ押し流されたり、斜面を多量の水分を含んで土砂や岩石が流れ下ります。</p>
 <p>がけ崩れ</p>	<p>集中的に発生する急傾斜地の崩壊</p> <p>山の斜面や自然の急傾斜のがけが崩壊することにより起こる山崩れ、がけ崩れ等の災害が多発することがあります。</p>

2 利用上の留意点

土砂災害警戒情報は、降雨の状況等から予測可能な土砂災害（土石流や集中的に発生する急傾斜地崩壊）を対象としています。しかし、土砂災害は、それぞれの斜面における植生・地質・風化の程度、地下水の状況等に大きく影響されるため、個別の災害発生箇所・時間・規模等を詳細に特定することはできません。また、技術的に予測が困難である斜面の深層崩壊、山体の崩壊、地すべり等は、土砂災害警戒情報の発表対象とはしていません。

 <p>地すべり</p>	<p>斜面の深層崩壊、山体の崩壊、地すべり</p> <p>斜面の土壌が比較的ゆっくりとすべり落ちることによって起こる地すべり等は、地質や地下水などが大きく影響します。</p>
---	---

3 土砂災害警戒情報の発表の流れと内容



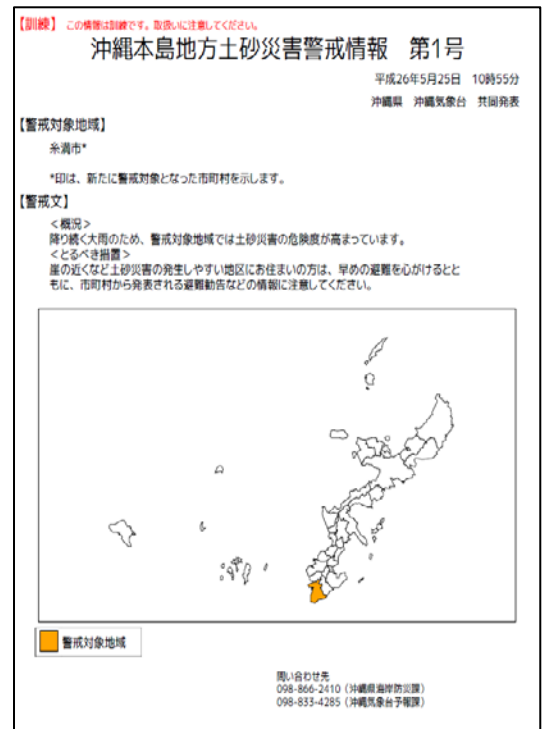
情報の内容は、文章と図を組み合わせたものです。文章部分では土砂災害の危険度が高まった地域（警戒対象地域）及び土砂災害のおそれが少なくなった地域（警戒解除地域）を市町村単位で記述するとともに、簡潔な内容の警戒文を記述します。

図の部分では、警戒対象地域と警戒解除地域をそれぞれ市町村ごとに色分けして表示します。また、1時間に30ミリ以上の強い雨が降る範囲とその移動方向と速さを表示します。

土砂災害警戒情報が発表されると市町村や消防本部等に通知され防災活動に利用されます。市町村長から避難勧告等が発令されたら安全な場所へ速やかに避難しましょう。

また、土砂災害警戒情報等が発表されていなくても、斜面の状況には常に注意を払い、普段とは異なる状況（一般に「土砂災害の前兆現象」と言います）に気がついた場合には、直ちに周りの人と安全な場所に避難するとともに、市町村役場等に連絡してください。

※避難場所は事前に確認しておくことが大切です。



4 土砂災害の前兆現象（まえぶれ）

- | | | |
|------|-----------------------|------------------------|
| 土石流 | ●山鳴りがする。 | ●急に川の流れがにごり、流木がまざっている。 |
| | ●雨が降り続けているのに川の水位が下がる。 | ●腐った土のおいがする。 |
| がけ崩れ | ●がけに割れ目が見える。 | ●がけから水が湧き出ている。 |
| | ●がけから小石がぱらぱらと落ちてくる。 | ●がけから木の根が切れるなどの音がる。 |
| 地すべり | ●沢や井戸の水がにごる。 | ●地面にひび割れができる。 |
| | ●斜面から水がふき出す。 | ●家や擁壁に亀裂が入る。 |
| | ●家や擁壁、樹木や電柱が傾く。 | |

土砂災害警戒情報は、気象庁のホームページから見るができます。

<http://www.jma.go.jp/jp/dosha/>

問い合わせ先

沖縄气象台予報課

電話：098-833-4285